

384. 素ナル標數ノ体ノ上ノ多元環ニツイテ

中山 正 (碩大)

今年ノハツメニ出タ Amer. Math. Soc. ノ Trans-
action 39, No. 1, A. Albert ノ論文, 及ビ昨年
學士院記事 XI ニ書イタ私ノ小論文 Über die Algebren
über einem Körper von der Primzahlcharak-
teristik - 於ケル結果カラ次ノコトガ証明サレル。

Kヲ素ナル標数 p ノ体トスル、シカラバKノ上ノ
 p -Potenzindex, (Brauer,) Algebrenklasse
ハドレ \in zyklische Algebren, 直積=ヨツテ表ハサ
レル。

特殊ナ事柄ヲハアリマスガ素標数ノ体ノ上ノ多元環ノ構造=用シテ一寸面白い意味ヲモツコトデアラウト考ヘマス。

Albert, 上記論文ハ Artin 及ビ Schreierノ、ソツテ Albert =ヨツテ更=補足セラレタ素標数 p ノ体ノ上ノ p -Potenzgrad, 巡回拡大体ノ理論ヲツカツテ p -Potenzindex, Divisionsalgebraガ zyklische デアルタメノ一條件ヲ証明シタモノデアリマスガ、上ノ定理ヲ証明スルタメ=ソコノ Theorem3ヲ modify 且ツ拡張シテ、先ツ

標数 p ノKノ上ノ Gradガ $n = p^2 + 1$ normal-einfach + Algebra A ガ $K(\alpha): a = \alpha^n \in K$ ナル如キ單純ナル完全=第二種 (vollständig-inseparabel) + 最大部分体 $K(\alpha)$ ヲフクミ、且ツ n ヨリ低イ次数ノ完全第二種ノ分解体ヲモクナイナラバ A ハ zyklisch デアリ

$$A = (a, Z, S) = Z + \alpha Z + \dots + \alpha^{n-1} Z;$$

$$\alpha^{-1} \alpha Z = Z^S \quad (Z \in Z)$$

ナル形=表ハサレル。

コトヲ証明スル。 証明ハ Albert / Theorem 3 / 証明
 ヲ適當 = modify スレバヨイノデアアルカラ省略シヨウ。
 (但シ Albert / 証明 = ハ小サナ誤リガアルヌウ = 思ハレ
 マス、即チ同論文 188 頁, 9 行目 = $K(x_{e0})$ is cyclic
 of degree p^e over K , 且ツ $K(x_{e0}) = K \times Z_e$ ナ
 ドト書イテアリマスガ、ソレデハ $K(x_{e0})$ ハ D / $Zent-$
 rum ノ $F =$ 対シテ p^{e+1} 次 = ナリ、 D が p^e 次 ナノデア
 アルカラ変デアリマス。 ソコハ何モ $K(x_{e0})$ ヲ持チ出サナ
 クトモ $Z_{e-1}(x_{e0}) = F(x_{e0})$ ヲ考ヘルダケデヨイノダラ
 シト思ヒマス、 若シ私ノ考ヘ違ヒデシタラ御叱正下サ
 イ)

次 = 私ノ前記論文ノ結果カラ、定理 = 於ケル如キ K /
 上ノ p -Potenzindex / $Algebrenklasse$ α
 ハ必ず完全第二種ナル分解体ヲ有スル、ヨツテソノ中最小
 ナルモノノーツヲ L トスル:

$$L = K(\alpha_1, \alpha_2, \dots, \alpha_t)$$

コト = 勿論 α_1 ハ $K(\alpha_2, \dots, \alpha_t) = \bar{L} =$ 含マレナイ
 トシテヨイ、而シテ $\bar{L} =$ 含マレル α_1 ノ最低ノ冪ヲ p^k 乗
 トシヨウ ($k \geq 1$)。

今 α_L (α カラ基礎体 K ヲ $\bar{L} =$ 拡張シタ Klasse)
 ノ中ノ次数 p^k / $einfache Algebra$ ヲ \bar{A} トスル (確
 カ = 存在スル)。 シカラバ $L = \bar{L}(\alpha_1)$ ヲ \bar{A} ノ最大部分体
 ト見テヨイ、而シテ上ノ補助定理ノ條件ハスベテ $\bar{A} =$ 於イテ

満たされ、 \bar{A} が

$$\bar{A} = (\bar{a}, \bar{Z}, \bar{S}); \quad \bar{a} = \alpha_1^{p^k}$$

ナル形 = ナルコトがワカル、次 = α_1 、幕デ $K =$ 含マレル最初ノモ、 $\alpha = \alpha_1^{p^k}$ ($k \geq n$) トスル、而シテ \bar{Z} ヲ含ミ $\bar{L} =$ 対シテ p^k 次ナル巡回拡大 Z/L ヲトル (確カ = 存在スル)、然ラバ

$$\bar{A} \sim (a, Z, S)$$

デアル、更ニ $Z = Z' \times \bar{L}$ ナル巡回拡大 Z'/K ヲトル、

(Albert, Theorem 2). 然ラバ

$$(a, Z', S)_{\bar{L}} = (a, Z, S) \sim \bar{A}$$

デアル、ヨツテ (a, Z', S) ナル巡回環ノ類ヲ \mathcal{L} トスレバ $\alpha \mathcal{L}^{-1}$ ナル類ハ \bar{L} ヲ含解体モツ、然モ $(L:K) > (\bar{L}:K)$ デアル、ヨツテ $(L:K)$ ノ次数 = ヨル Induction = ヨツテ定理ハ容易ニ証明サレル。

以上ノ証明 = ヨツテ判ル如ク、モット細カクナルコト = ヨツテ、モット細カイ Struktur が出ルヌヲ = 思ヒマスガ、何カ出マシテラ御報告イタシマス。